



# 千代田まちづくり サポート

# 通信

2005年9月発行  
NO.13

編集・発行 (財) まちみらい千代田 まちづくりチーム

東京都千代田区神田錦町 3-21 ちよだプラットフォームスクウェア 4階  
〒101-0054 TEL.03-3233-3223 FAX.03-3223-7557

財団ホームページ <http://www.mm-chiyoda.or.jp>

E-mail [info@mm-chiyoda.or.jp](mailto:info@mm-chiyoda.or.jp)

## 学生、高齢者、女性、多彩な参加者が一同に 第7回公開審査会 17団体に助成が決定！



財団法人まちみらい千代田が4月にスタートし、新体制でのまちづくりサポートが始まった。6月18日、第7回公開審査会が開催された。応募グループは、27グループで、これは第5回の30グループに次ぐ2番目の多さであった。前回まで副会長であった饗庭氏が会長となり、副会長に鈴木氏、賛助企業から金城氏が新たに加わり、審査員も新たな体制となった。

応募グループは、学生が中心となるグループ、主婦が中心となるグループ、高齢者が中心となるグループ、あるいはNPO法人のグループなど、これまでも増してバラエティーに富んだ参加者が一同に会した。会場に集まったのは150人を超えていた。応募グループが多かったこともあり、審査時間は予定を大幅にオーバーした。しかし、午前中の発表だけでは判断できなかった点について、午後、各グループすべてに質疑を行ったことにより、緊張感のある審査会となった。

27グループの内、助成が決まったのは17グループであった。助成総額が決まっているため、助成を受けられるグループは自ずと限定されてしまう。残念ながら今回助成を受けられなかったグループも、活動自体は社会的に意義のあるものである。今後の活動に期待したい。一方、助成を受けることになったグループは、審査会でのアドバイスはもちろんのこと、他グループからもらったパワーや刺激も糧にして1年間の活動をより大きく展開していくことが期待されている。11月には中間発表会が開催される。活動を地域に密着させ、様々な人やグループのネットワークと触れ合い、活動を着実に進めた各グループが、またこの会場で交流する時が待ち遠しい。

【審査委員＝敬称略】

会長 饗庭 伸

(首都大学東京 助手)

副会長 鈴木 伸治

(関東学院大学 助教授)

委員 金城 敦彦

(NPO 法人大丸有エリアマネジメント  
協会事務局長)

山崎 範子

(地域誌編集人)

田畑 秀二

(江都天下祭研究会 神田倶楽部代表)

山本 坦

(NPO 法人東京セントラルパーク 理事)

座間 充

(千代田区まちづくり推進部長)

## 目次 (発表順)

●五十通り名店街	2
●千代田区こども110番連絡会	2
●東京を自転車で走る会	2
●法政大学ACIプロジェクト	2
●花・風の会	3
●文化発掘隊	3
●ちよだ絵本づくりネット	3
●人が愉しむ道の研究	3
●千代田区民音楽協会	4
●フレンドシップちよだ	4
●千代田ガイドクラブ	4
●魁! 神田塾	4
●CAPPS	5
●都心の水辺探訪クラブ	5
●千代田区のマンションの共生空間を考える会	5
●千代田乃会文化部	5
●武蔵野美術大学コミュニケーションデザインチーム	6
●kandA 夢 Lab	6
●NPO 法人 i-Route 準備会	6
●NPO 法人 Dalun Supports Animals	6
●お茶の水アートキャンパス構想推進会議	7
●Ray Projects(レイ プロジェクト)	7
●NPO 法人おむすびママの会	7
●NPO 法人都市住宅とまちづくり研究会	7
●でんでんむし	8
●区有財産の活用を考える区民の会	8
●東京国際人権協会	8
【総評・審査員講評】	9
【お知らせ・賛助会員一覧】	12

# 1. 街なかでの商店街の存在必要性をさぐる

五十通り名店街【3回目：助成金 28 万円】

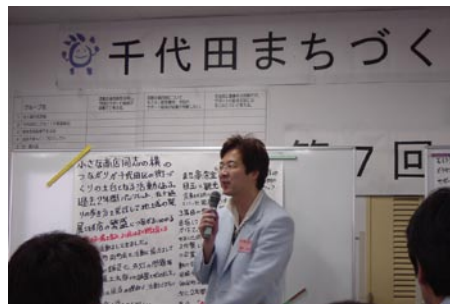
開発の進む神田地域には、古くからの商店と大型資本のチェーン店とが混在するようになった。オーナーが他の地に住んでいて地域とは関わりを持たないことも多い。せめて隣の店の持ち主は誰か知るとか、最低限の横の繋がりを創ろうと活動を始めた。それこそが街づくりの基本だと考えている。

これまで会のパンフレット作りや割引サービスの実施などをしたが、2年間で3軒の店が閉店。街づくりのエネルギーをもう一度呼び起こす為に、今年は「外側から見た五十通り」をテーマに、地域の文化、歴史、伝統を大事にして、情報発信を活動の中心にする。

森まゆみさんたちが編集発行の地域雑誌『谷中・根津・千駄木』などを参考に、情報誌か地域誌かとにかく頑張りたい。幸い、町会からのバックアップも受けられるようになった。観光＝グルメ＝商店＝街、の図式を創ってあげたいと思う。

Q) 昨年の活動も今年創る小冊子に載せるのか？

A) そうすることで、活動にも広がりをもたせられると思う。



# 2. こどもをまもる電腦まちづくり

千代田区こども 110 番連絡会【3回目：助成金 37 万円】

基盤づくりは実り、保護者・協力者(こども 110 番の家)・学校・行政機関を結び合わせる活動を最終年度として更に展開する。具体的には、

①こどもに危険な情報をすばやく伝えて、危害の発生を未然に防ぐ。EX.「千代田区こども 110 番連絡会 HP」を核に PC&携帯電話 Net Work を構築。

②区全域の「こども 110 番の家」2300 軒と、教育委員会とも連携して挨拶のできる街づくりに貢献する。アンケートを実施し、個人情報保護法も考慮して HP へのアクセス・相互通信を希望者を対象に実現する。

③講習会等を通してこどもを取り巻く IT 環境の実態を把握、パンフレット作成等全区的な情報化に努める。

④今後も日本の中心地に相応しい生活環境づくりに寄与する。

Q) 私立、公立の垣根や近隣の区への地域的な広がり？

A) 私立の場合合同窓会中心に動く。PTA や知り合いをベースにした連絡会に比べて難しい面もあるが、アクセスは希望があるのでいずれ案内する。中・高校へも広げてほしいと要望はあるが、まず小学校を考えている。



# 3. 都心を自転車で楽しむための仕組みづくり

東京を自転車で走る会【3回目：助成金 34 万円】

これまでの成果を踏まえ、自転車による都心観光の推進を進める活動を今年は卒業制作のつもりで行う。千代田区を起点に隣接区も視野に入れた観光ルートを考え、具体的に自転車観光案内人の可能性を探る。

千代田で生まれたソバリエに習いサイクリエとして、案内人は地域の解説の他に安全性の確保のため、交通法規や自転車誘導の安全管理等のスキルアップを図ることが重要。そのための育成講習会を開催する。

昨年作成したサイクリングマップやコースの提案集の活用促進のために、行政や他のグループとのネットワークづくりや、

レンタサイクルについても考え、有終の美を飾りたい。

Q) 昨年の参加者数は何人か？ また人件費が減り、印刷費が2倍に増えたのは地図づくりのせい？

A) のべ人数 50 人。印刷費は地図の制作に掛かったため。

Q) 来年以降の活動は考えているか？

A) 地図を区内の企業や都の観光課、行政等と協力して部数を増やしていく。また養成講座の充実も図りたい。



# 4. Let's Enjoy lidabashi

法政大学 ACI プロジェクト【2回目：助成金 30 万円】

私たちは飯田橋地域の人と人との温かい繋がりによる地域交流とまちの活性化を理念に活動している。

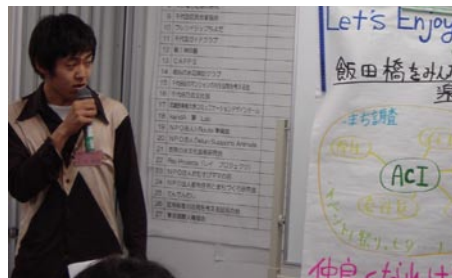
具体的にまちの調査データや意見交換、活動経験の反省を踏まえて、地図情報誌「ダバチズ」発行や HP で情報発信する。また「七夕イベント」や「元気出せ飯田橋まつり」などのイベントも継続実施する。

もっと地域の方に参加してもらうために、新たに外濠公園でのお絵描き大会「さくらアート」や飯田橋の名所を見て歩く「エンジョイウォーク」などで留学生との交流も企画、実施して地域との密着を図りたい。

Q) 「ダバチズ」発行の部数は？

また来年の活動の継続はどう考えるか？

A) 大体 2 千から 3 千部発行で、JR の飯田橋駅や商店街の協力店、法政大学などに置かせていただいている。継続については学生の弱いところだが、アルバイト情報を載せて募り、活動資金については、印刷を自分たちでやれないか検討している。





## 5. 一人立て 花の銀行、人材育てて、人を呼ぶ 花・風の会【3回目：助成金 27 万円】

花の球根を育てて、児童館や小学校、町角の小さな公園、ビルの屋上などに植えるため、希望者に球根や花の種を貸し、生き物の成長と育てる根気、感動を体験してもらおう。2年か3年に一度子株を返してもらい、毎年球根を増やして花の銀行を創りたい。仮称「千代田区まちづくりフラワーサポートバンク」とする。花の種類は水仙、チューリップ、菖蒲、あやめ等。また区内の歩道や三角公園等に咲いたままの花の後処理、手を入れたり、鋏で刈り込みしたり、雑草をとり水撒きをして、立枯れになる花の再生の一助になって来たと思う。

子どもたちも挨拶してくれるようになったし、人の希望や

夢を育て、花を通して暖かい心を街に増やしたい。

Q) 球根を育てる

場所はどこで、その花をどこに植えるのか？

A) 埼玉県の畑で球根や宿根草を育てて千代田区内のマンションのベランダに植える。

Q) 予算のなかで球根代が多いのはなぜか？

A) どうしても、腐ったり、また盗まれたりもするので、買い足すため。



## 6. 千代田子目子目世間遺産の発掘と情報発信 文化発掘隊【2回目：助成金 29 万円】

「こどもまちの記者」プロジェクトは、子どもたちに取材を通して地域への理解と愛情をもってもらい、様々な人との交流から自主性や情報発信力を高めることを目指す。今年度は身近にある区の大切なもの、不思議なものを「世間遺産」として子どもの目で捉えて後世に伝える。子どもの視点を大事にすると同時に子どもたちが取材内容を自分の言葉で伝える実践をする。街に対する興味や愛着が増すと共に千代田の魅力を内外にアピール。大人も新たな切り口で街を理解する。昨年までの新聞だけでなくビデオ映像も活用して、より多くの人に千代田を知り、考える機会を提供したい。

Q) 具体的に区内

の小学校への

呼びかけはど

うするのか？また、できた新聞は何処へ配付するのか？

A) 教育委員会から OK が出ているので、各学校へも声をかける。新聞は企業、商店などにも置いてもらう。

Q) 子どもを集めるのが大変とのことだったが、今年はどう工夫するのか？

A) オリエンテーション等で広まり、のべ 30 人の参加があった。さらに他の団体と連携し、e-プラットフォームも利用する。



## 7. 手づくり絵本で「家族の和と輪」をつくっていこう！ ちよだ絵本づくりネット【2回目】

「ひと」あつてのまちづくり、まちづくりの基本は「ひとづくり」。そこで手づくり絵本が力を発揮する。今日は留学生の方が活動を説明する。「春から企画会議を始めて、区内に残る昔話などの勉強会をした。

今年の目標は、手づくり絵本展を開くことと、区内の全幼稚園で保護者を対象に手づくり絵本の講習会を開くこと。

(以後、手づくり絵本の作品朗読)

Q) 会は全国的なサークルらしいが、活動を「千代田のまちづくり」にどうつなげるのか？「読み語り」とは？

A) まちづくりは「ひとづくり」なので、35年の実績があるこ

の活動が子育てにより結果を生むことは確か。「読み語り」とは、講習会や絵本展会場です市の絵本や主に会員の作品の読み聞かせをすること。

Q) 必ずしも千代田に関する内容の絵本ではないのですね。

A) はい。展示された作品です。



## 8. 放射 27 号線の道づくりの研究 人が愉しむ道の研究【2回目：助成金 28 万円】

都市計画道路放射 27 号線の拡幅実施前に住民の意見をまとめ、理想的な道を提案する活動を行った。この沿道は 70% ~ 95% のセットバックを完了。車が通り抜けるだけの道ではなく、人が楽しめる緑の道にしたいと思う。

昨年は大きな災害が国内外にあった。今年は災害時の安全な道の調査を第一に継続する。水の確保、消火栓や街灯の数や位置の確認と自販機の転倒など交通障害や危険な場所を調査。

第二に安らぎの街づくり、ホッとできる場所づくり。特にリラクゼーションと遊びの都市公園の提案や、オープンカフェと駐輪場の設定試作等を行う。

第三に、コンピューターのシミュレーションのためにデータを集め、できれば立体模型もぜひ創りたい。

Q) 立体模型にこだわるのはなぜか？

A) 立体模型があると、未来と現況とが一目で分かる。

Q) プロを巻き込んで、相談してはという意見が出たが？

A) 必要は感じて試み、具体的ではないが動きを始めている。

Q) 立体模型の置場と活用法は？

A) 住民集会で模型を見て話合う。



## 9. 響け!ひろがれ!音楽のまち “ちよだ”

千代田区民音楽協会【2回目】

昨年は、万世橋福祉作業所、区内の保育園や特別養護老人ホームなどで共に歌うことで仲間となり、音楽による輪を拡げていけた。さらに今年も活動をぜひ継続したい。

老人施設の人たちや心身障害者とも音楽を通して交流できたが、デイケア施設と老人ホームのお年寄りの違いに気付いた。帰る家のある前者のお年寄りは、表情も明るく、活き活きとしている。どちらも大切にしたいと思う。

地域の人を地域の人が見る大切さも学んだ。そこで、より充実した活動のために人材を増やしたい。そのためのコンサートを開く予定。また音楽療法士の育成も必要なので、ぜひ助成を

お願いしたい。

Q) 人材を集めるためのコンサートとは何故必要なのか？他の方法は？

A) 交流の場だけでは活動の人材はあつまらない。実際に音楽で活動中の人たちに呼びかけることが大切なので、その分費用はかかるが、この活動をアピールしていきたい。



## 10. 地域に根ざした国際交流

フレンドシップちよだ【1回目：助成金 11万円】

外国人の地域参加をお手伝いし、住民との交流を橋渡しする目的の会。具体的には日本文化を外国人に紹介する活動を中心に、年10回のイベントを開催。茶道や生け花教室、着物の着付け等を体験してもらっている。

平成15年より番町小学校でサタデースクールを年14回開き、リクルートした外国人を講師に、出身国の文化を子どもたちに紹介する。消防訓練や幼稚園での通訳も要請を受けて行う。

問題点は、HPに企業広告があるので学校では見られない点。掲示板に張るポスター等はA4版でしか印刷できず拡大コピーをしたいが費用が出ない。また、講師の補填や謝礼なども充実

させたいので申請した。

Q) イベントでの区民と外国人との割合はどのくらいか？

A) 区民が4で、外国人が6くらい。広告はHPで行い、去年は35か国、197名の外国人と日本人が参加している。

Q) 街づくりとしては今後の展開は？

A) 現在は上智大学生と連携しているが、千代田の他のグループと一緒にコラボレートできればと思っている。



## 11. 千代田区のガイド学習教材の作成と提供・支援

千代田ガイドクラブ【1回目】

ボランティア団体の東京シティガイドクラブの有志の会。学校へのガイド学習を支援。教材を作成し、伝統、歴史、文化の豊かな千代田の主要景観、建造物の案内冊子、CD、写真パネル等の作品展も開きたい。教材は高校生を想定して英語版も考えている。

自分たちの学び、住む町の景色をよく見て、自分の考えを語り伝えることが大事。ガイド学習とはまさにコミュニケーション能力を養うこと。児童、生徒をガイドすることにより、その発想、発案などを採り入れ、子どもたちの目線から見た教材づくりとガイド方法を研究する。

Q) 多くのガイドのなかでこのグループの特色は何か？

A) 学校の子どもの声を採り入れてガイド教材を創る点。

Q) 『千代田まち辞典』との違いは？

A) 小・中・高校生の発達段階に合わせ、かみ砕いて伝えていく。

Q) 先ほどの「フレンドシップちよだ」とリンクして活動できないか？

A) 大事なことなので、多いに連携してやっていきたいと思う。



## 12. 親子一貫 神田っ子育成企画第1章

魁(さきがけ)!! 神田塾【1回目：助成金 23万円】

神田地域の親子が集まり、学校間、世代間、新旧住民の間にある垣根を越えて交流しようと結成。親子、学生が継続して活動、地域の活性化を図る。共に何かを体験することで生きる意識を育み、様々な触れ合いのなかで人との付き合い方を学び、神田に愛着を持ってもらう。

具体的には1. 神田まち探検、2. 親子、学生の交流会、3. 異文化・異地域との交流、4. まちづくりリーダー育成、5. 情報発信、等の活動。これまで靖国神社の親子花見会、船橋海浜公園での親子潮干狩りや親子で菖蒲湯、中華料理教室等を実践した。地域のみんなで「神田っ子」を育てたい。

Q) 町会のイベントとの違いは何か？

A) 地域の枠を越え、幼稚園、学校の枠も越えて、広い協力を得てやること。

Q) 参加の学生は地元の人か？発表者に女性が多いのはなぜか？

A) 区に在学、在住の学生が多い。父親は家で小さい子の面倒を見て留守居役のようだ。(会場から笑い)。

Q) 申請の予算が高額だが、時間がないので後ほど細部の説明を伺う。





## 13. 公園アダプト制度を区民の立場からサポート CAPPS( キャップス)【1回目:助成金 34万円】

この会名は「千代田アダプト制度公園プロモーションシステム」の略称。道路や公園などを地域住民や企業、団体が中心になり管理、清掃して環境美化を行う「千代田アダプトシステム」を区民の立場からサポートする。さらに、アダプト適用団体相互のコミュニケーションを図ることを目的とする。

現在、この制度が適用されて美化されているのは紀尾井町清水谷公園、地藏橋東児童遊園のたった2か所。そこで各イベント等を通じて、この制度のPRと地域とアダプト制度をより一層結びつけ、適用団体を増やす。そして公園に花と緑をいっぱいにするための活動をしていきたい。

Q) 調査地図作成費の内容は？

A) 注目されないような、道路の片隅でゴミ置場になっている公園の実態調査をするための費用。公園を中心に地域の活性化を図るには、地域の企業や店舗の協力も得るが、助成がほしい。

Q) サポートの他のグループとの連携は考えているか？

A) もちろん喜んで連携を図りたい。



## 14. 神田川・日本橋川の魅力再発見 都心の水辺探訪クラブ【1回目:助成金 22万円】

水運の町、水の都だった江戸。かつて川は人々の暮らしに大切なものだった。東京都心の水辺に賑わいを取り戻したいと会を発足。日本橋川、隅田川等を手漕ぎボートでクルージングして水辺に親しみ、水辺の街並み景観を再考してきた。浮き桟橋の常設化に向けても港区、品川区で試みた。

今度は神田川でカヌーやEボートを使いリバーウォッチング、陸上からも現地踏査して川の現状を知り、その結果を踏まえ一般参加者を募り、モニターツアーを開催する。川に詳しい地元の方にガイドを依頼、地元との交流も図り、水辺の魅力を伝えたい。防災面では、河川の防災船着場の使用や管理状態を

記す素案を作る。

Q) これまで事故はあったか？

A) 万に備えての考えは？

A) 安全指導を行っているが、一応保険に入る。今まで事故はない。

Q) 地域振興がテーマ、活動の成果を情報として地域に発信してほしい。

A) 活動のまとめは手引書にする。地域の高齢者や子どもたちを乗せて川遊びを楽しみたい。



## 15. 千代田区「共生空間」探検隊 千代田区のマンションの共生空間を考える会【1回目】

都心人口回帰の鍵としてマンションの内外にある共生空間の探検と提言。都心居住の今と魅力的なあり方を発見して伝える。とりあえずマンション集中ゾーンである番町、麴町でやる。

まず探検隊参加者を募り、趣旨を協議。共生空間に関する勉強会を講師を招いて開く。会員と自由参加者で調査し、ワークショップで都心居住の共生空間モデルの試作を紙粘土等で創る。マップ等も作り、報告書にまとめて他のグループとの連携も図りたい。

Q) 協力者の名に「要請予定」が多いがOKの出た人は今現在いるのか？

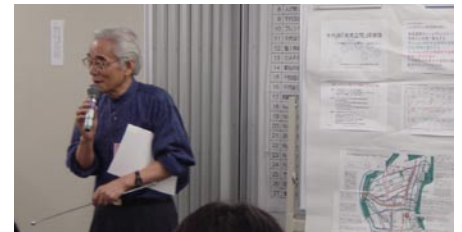
A) 千代田マンション管理交流会はOKで、このメンバーがコアになる。

Q) 活動の「提言」とは具体的に何か、今後の活動の展開は？

A) マンションの共生空間のあるべき姿を提言する。防災や介護の視点でも居住空間をよくするために、集会施設や区全体を繋いでいく活動を行う。

Q) 提言やセミナーの対象者は誰か？

A) マンションの住民が主となりイベント参加者に発信する。



## 16. 素敵に歳を重ねよう 千代田乃会 文化部【1回目:助成金 6万円】

高齢者の生き甲斐、生きる力、楽しみのために高齢者同士で社会貢献をとボランティア活動を始めた。立派な家族の中でも高齢者の話相手は少なく、いかに孤独かを知った。そこで引きこもりや孤独死を防ぎ、明るい生活を送るサポートをする。

具体的には「敬聴ボランティア」で訪問して話を聞き、必要ならシニアカウンセラーとして悩みを聞く。「生活ボランティア」は明るい話題を提供、趣味の集いを開いたり、時に希望者で小学唱歌を合唱する。

高齢者のネットワークを作り、互いの生活に喜びを満たす。親切の押しつけにならないように十分に注意する。地域の方々

の理解と協力が欠かせないので、広報の意味も込めて3回程度の講習会も開きたい。

Q) 会員は高齢者だが、同年輩の目線でやるのか？

A) その方が、高齢者の方も気安く話せるので。

Q) 助成は3年間だがその後も続けられるか？

A) もちろん生きている限り活動する。私は81歳だが、50代の会員もいるので大丈夫。(会場から「おばさん頑張って!」の声)ありがとう。(笑)。



## 17. すずらん通りのコミュニケーションデザイン

武蔵野美術大学コミュニケーションデザインチーム【1回目：助成金5万円】

大学の演習をきっかけに、授業を離れても活動しようとグループを設立。デザインを学ぶ者として経験を活かし、活動していく。すずらん通りの現状を把握、その魅力を住人や来訪者に再発見して貰う。古本屋街のイメージだけでなく、古い建物の魅力を見直す。

イベントとして1日だけ、路上駐輪自転車、路上駐車の手、カラーコーンや広告、のぼりなどを撤去して、その通りの表情を体感してもらう。その空間でスケッチ大会を開き、古いものを確認してまちづくりに活かし、コミュニケーションを図る。  
Q) アートの面も期待する。自転車の撤去はぜひに。予算は大

丈夫か？

A) 不足分はポケットマネーで補う。

Q) 区的环境条例も

あるので神保町の出張所など、行政と連携しては？美しい建物の再認識をぜひ。もし今年がだめでも来年は再挑戦するか？

A) 来年こそ50万の申請で臨みたい。

Q) 地元との関係はどうか？

A) 何度か話し合いをしていて、いい関係ができると思う。



## 18. 神田でつながる・つくる・つたえる

Kanda 夢 Lab.【1回目：助成金25万円】

神田に魅せられ、神田で活動する建築学科、アート系の複数の大学から集まった学生団体。より密接な地域との交流を求め、創る、伝える、繋がる、というプロセスを通し、学生なりの夢や想いを研究成果や作品として地域の人に伝え、それを共有して新たなまちづくりを提案する。

「神田・日本橋夢祭2005」を開催して、今年も更に交流を深め、関連団体とも協力してイベントや勉強会で意見交換を行う。ワークショップを企画し、ものづくりを通して地域住民と関わり、研究や設計にアドバイスを頂く。

活動の成果は「夢祭2006」で発表。活動は後輩の学生に繋げ

て継続し、本に纏めて出版したいと考えている。

Q) もっと地元積極

的にアピールすれば地元は受け入れる。連合町会等も巻き込んでほしい。

Q) 1年目は学生だけで基盤を創り、いずれ地域住民とやるのか？地域への貢献を目指してほしい。

A) 地元の人にも発表し、意見を聞き、交流していく。学生と地域住民の想いが重なった神田の夢を描きたい。



## 19. 社会起業家育成のためのNPOインターンシップマップ作成

特定非営利活動法人 i-Route 準備会【1回目：助成金18万円】

NPO や市民活動に興味を持つ明治大学の学生有志の会。大学発のNPOであるi-Routeの設立を目指す学生が、NPOインターンシップを促進して、学生のNPO理解を深める。同時にリーダーとなる人材確保の機会を提供することで、まちづくりの担い手となる福祉等の社会起業家の育成に貢献する。

そこで、①区内のNPOインターンシップ実施状況をマッピング。アンケートやヒヤリングをしてマップ作成。その成果を報告書として纏める。

②社会起業家的なリーダー育成のための公開講座を開催。人材交流を図り、研究事業を行う。

Q) なぜNPOに限定するのか？将来的な展開は？

助成を申請した理由は？

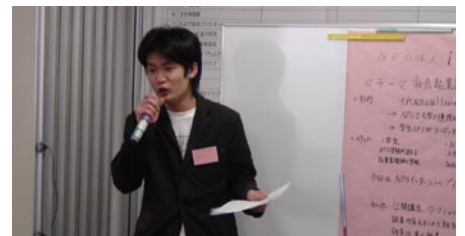
A) NPOを大学で学び、創りたいと考えた。千代田の他のグループと交流、連携して共に学びたいので応募した。

Q) 謝礼とあるがNPOへ払うのか？報告書は誰に配るのか？

A) 謝礼と報告書は学生と取材に応じてくれたNPOへ配付。

Q) マップの役割とは？それは公開性があるのか？

A) 資料として提供。インターネットやHPにも載せる。



## 20. 人と動物にやさしい街千代田ペットマップづくり

特定非営利活動法人 Darlun Supports Animals【1回目】

動物愛護団体とは、動物やペットのことしか頭にないと思われがちだが、動物と共生する街づくりのための情報収集と提供、意見交換が活動の目的。

ペットが日常生活に欠かせない存在となるにつれ、ペットをめぐる問題も生じている。鳴き声等で近隣とのトラブルも多く、特に集合住宅では発生する。問題をいかに乗り越え、未然に防ぐか、誰もが自由に参加して意見交換できる場をつくりたい。

地図に動物病院、ペットショップ、ペットホテル、ペット共生住宅、ペット可の飲食店等を示すペットマップを作成し、印刷物とWEBサイトで公開する。また、非ペット飼養者の方を

含めた区民の人々と話し合い、コミュニケーションを図る。

マップ公開時には「ペットと共生する街づくり」シンポジウムを開く。今後の街づくりに大事な視点だと思う。

Q) ペットには盲導犬等も入るのか？

A) 盲導犬はもちろん、介助犬も含める。

Q) 出席者をどう集めるのか？

A) 事務局が審査会が開かれるビルにあるので応募した。ここで声をかけてコミュニティを創りたい。





## 21. 茗溪通りスケッチ大会と連携したアートイベントによるまちづくり お茶の水アートキャンパス構想推進会議【1回目】

日本大学理工学部大学院で建築や都市計画を学ぶ院生、教員の団体で、まちづくりに関する研究をしている。お茶の水には聖橋やニコライ堂など歴史的文化遺産が多く、画材店、楽器店や文化・芸術系の専門学校等が集積、文化、芸術のポテンシャルが高い。

現状ではオフィス街のイメージが強いが、昨年10月に「お茶の水茗溪通り会スケッチ大会」を開催、文化芸術のまちを目指した街づくりの機運が高まった。大学と地元が連携し、スケッチ大会とアートイベントを地域のフェスティバルとして定着させたい。今年は特に学生が主体となり、アートフリーマーケット

ト(10月9日)の企画・運営を中心に活動する。

Q) 人件費の支出が多いのはなぜ？

A) 3万人の人出を見越し、人手不足でアルバイト募集のための費用。

Q) フリーマーケットへの出店は参加費は無料なのか？

A) 参加者がプロではなく市民で市民活動の発展の場と考えるので無料。



## 22. 町並みの景色の再発見・サイトシーイングバスカメラプロジェクト Ray Projects レイプロジェクト【1回目】

身近な景色を映像として映し出すと見慣れた光景の中に見落としていたものを見つけ、街並みを再認識する。

ピンホールカメラの原理を応用して路線バスを大きな手づくりカメラに仕立てる。バスの中を暗室にし、窓に光の入る穴を開けると、外の景色が上下逆さに映し出される。それがサイトシーイングバスカメラプロジェクト。

このバスカメラの運行はスケッチ大会に合わせて実施し、希望者には運行コースをウォークラリーもしてもらう。参加者にその体験の感想を絵や文章で表現してもらいワークショップを開催、作品はHPで紹介する。バスには地元の子どもの作

品を飾り、動く展示場とする予定。

Q) このプロジェクトをどうまちづくりに活かすのか？

A) まちを見直すことでまちづくりに活かす。季節の節目ごとに行いたい。その活動が交流も生むと思う。

Q) 「天の橋立て」などでよくやるように、自分の股の間から見ると、景色が上下逆さで新鮮に見えたりする。しかし、それでまちを見直せるのかは疑問に思う。まちづくりにどう活かせるのだろうか？



## 23. “育てよう、ちよだのまちから世界を担う子ども達!” 特定非営利活動法人おむすびママの会【1回目】

地域の活性化の核となる“家族”特に子どもたち。心身共に元気な子どもを育成することがまちづくりに必要不可欠だ。家庭及び地域社会に、食を通して世代間の交流やゆとりある健康づくりの場を提供する。企業、法人、公的機関の協力を得てイベントや児童生徒の余暇事業を実施してきた。今年の提案プログラムは、①親子ヨガ教室、②視点を変えた食事指導、③おむすびをつくり食卓を囲むコミュニケーション、④健康記録カードの記入で生活習慣の改善。マスコミへも情報提供し、ネットでのアピール、レポートによる報告、発信を行う。

Q) 去年、区の文化学習スポーツ課と協働したが、今年はどうか？

A) 単発ではなく、今年も定期的に活動したい。

Q) 全体の活動の中での位置づけはどうか？

A) 講演やセミナーをしてきたが、それを基に家庭用のブックレットを創りたい。

Q) 今後も継続してやっていくのか？

A) 10年続けるものもあるし、他の団体とコラボレートして、その都度やっていくものもある。



## 24. 『下町げんき会処』開設準備から地域福祉のまちづくりへ 特定非営利活動法人都市住宅とまちづくり研究会【1回目】

お年寄りの昼間の居場所として、デイサービス・センター「下町げんき会処」を開設。その準備と開設後の活動を通じて地域で支える福祉のまちづくりを目的とする。

「下町げんき会処」の構想を知らせるPRパンフレットを作成。地域住民や町会役員、区議会議員、行政の担当部門などにヒヤリングして、『下町げんき会処たより』を発行して情報発信し、活動状況も伝える。

開設前後のコミュニケーションをフォローして活動し、運営にも活かす。より多くの方に地域の高齢者福祉について考え、支えていただきたい。

Q) 今年はどこまでやる予定か？また、今後の展望は？

A) 秋にはセンターホールを開所したい。来年にかけてが立ち上げの時期。『たより』は併せて発行し、地域全体への繋がりをつくる。

Q) 前回の活動とのつながりは？

A) 住み慣れた地域に住み続けたい思いが高齢者介護も在宅で考えた。



## 25. 電大と神田をつなぐ橋『でんでん橋』

でんでんむし【1回目：助成金 23 万円】

電機大学建築学科の有志で、地域に貢献することを目的に設立。電大と神田の橋渡しをする3つのイベントを企画した。①でんでん神田交流会。大学と町と人との出会いと交流を図り、地域の人を大学に招き、活動を紹介する。②人・モノ交流ワークショップ。電大の学園祭錦祭に神田の人と提灯を作り大学周辺に設置する。③電大仲よしパソコン講習。大学周辺の住民や商店に出張講習や補助を行う。④「でんでん錦通貨」の発行。イベントやワークショップ参加者を対象に電大周辺の商店で利用できる通貨を作成する。

電大ならではの活動で地域との信頼関係を結び、学生の側か

らまちづくりを提案、実行していきたい。

Q) 人件費は学生はボランティアでは？講師の謝礼とは？

A) 講師謝礼は提灯作りの講師へ。まちづくりを広める意味で人件費は学生にも周辺商店で使う地域通貨で払う。

Q) 地域通貨の実施規模は？

A) 期間は11月限定。協賛商店はこれからも声をかけて増やす。

Q) もっと広い地域へ働きかけ、大学内のイベントだけではだめだと思う。



## 26. 区有財産（主に廃校跡地）の利用を考える

区有地活用を考える区民の会【1回目：助成金 20 万円】

区の夜間人口が減り子どもの人数も激減、10年間で各地に廃校校舎、跡地が続出した。まずその現況を地元の人に知らせ、その利用法を題材にまちのあり方について考え提案していく。

住民が夢を持ってまちの将来を展望し、環境、歴史、文化、防災に寄与する跡地利用についての知恵を出し、議論するためのネットワークを創る。

京都や神戸などでの実施例も紹介して、地域ごとの議論やプレゼン、報告会の集大成としてまとめのパンフレットを作成し、提案を発表する。次世代の子どもたちが夢をもてるまちづくりへの教材にもしたい。

Q) メンバーは地域別に集まるのか？

A) 学校を中心に地域の人が集まる。

Q) 区の公有財産を使う目的なのか？

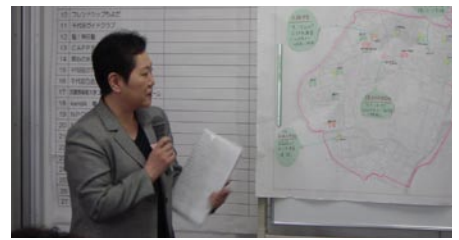
A) 区有地の使い方を考える資料を提し、議論する場をつくる。

Q) 区の方針、事業との関係は？

A) 住民としての意見を伝え、提案を発表する場をつくる。

Q) 交通費になぜ25万円も必要なのか？

A) 全国の廃校を現地調査するため。



## 27. 千代田区における中国系の人々の暮らしサポート

東京国際人権協会【1回目】

法律や福祉に関わる仕事や研究、語学教室や法廷通訳をしているメンバーで設立した。人々の人権を守ることが目的の会。

今年のテーマとして区内の中国語を使う人たちの暮らしをサポートするために、条例やルールを学び、悩みの相談に応じる。日中の法律の違いを知らず、無知のために起こる犯罪もある。区の条例等を中国語に翻訳し、冊子にまとめて配付したい。

同時にこの町の良さやルール、人間性などを発信し、より一層、人々に千代田を訪れてもらうように活動する。

Q) 区役所でも文書を中国語に訳しているが、資料は足りないのか？

A) 法律に関するものは少ない。

Q) 具体的にどんな法律を訳すのか？

A) 刑法、住むために必要な区の条例等を選んで行う。

Q) 生活に密着した細かいルールか？

A) 最低限、暮らしに必要なものを考えている。





# 講評

## 【饗庭会長 総評】

最初に、まず「NPO だから助成はダメなのか？」という審査会での問いに対するお答えをしておきます。基本的なスタンスとしては「NPO だからダメ」ということはありません。

このサポート事業というのは、団体に対する助成ではなく、その活動に対する助成です。従って、どのような段階でも、その事業、プロジェクト自体に対して助成するというのが基本的なスタンスです。

私自身が「NPO だから ....」と何度か言いましたが、ご説明をしておきます。NPO 法人といっても、体制がしっかりしたものから、そうでないものまで、いろいろあるということは私も分かっています。しかし少なくとも、制度の法律上の主旨としては事業計画を最初に出すことは求められるということになっています。それが申請書やプレゼンで読み取れない場合に、確認の意味でお聞きしたいです。また、問題があれば、議論していきたいと思います。

最後に、簡単に総評を述べさせていただきます。私も、実は千代田以外にも、いくつかのまちで、このような活動の公開審査会をお引受けしています。いま、世の中では、このようなやり方が



流行ってきています。これはやはり、広い意味でのまちづくりで、いわゆる区画整理とか災害対策とか、再開発等の一連のものと同じような活動として、こういうやり方でやっているわけです。

では、再開発とはどう違うのかといいますと、たとえば六本木ヒルズの再開発等は、手のかかった最高級フランス料理のようなものです。サポート事業のようなやり方はたぶん「ごった煮」のようなもので、日本の煮物とか子どもも大好きなカレーライス等を作っているようなものだろうと思います。

フランス料理は好きな人が限られてしましますが、煮物やカレーは日本中の家庭で喜ばれ、食べられています。私も大好きです。千代田のまちづくりサポートのようなやり方は、大規模な再開発等と対抗できるような、もう一つのやり方として見えてくるのではないかと考えています。

活動成果を発表する機会が2回あります。今回は産みの苦しみが大変ありましたので、それだけに、みなさんが今後どのように展開されるか、とても楽しみにしています。どうぞ、1年間がんばっていただければと思います。

## 【審査員 講評】 (敬称略)

### ●五十通り名店街

3年目なので「有終の美を」と申し上げたいところですが、まだ、しっかりとした活動の核、方法の型が出来ていないように思います。突然のブレイクスルーにも期待が持てますが、一方で、派手さのない(花と散らない)、地に足のついた成果があがることに期待しています。(饗庭)

### ●千代田区子ども110番連絡会

活動体制の充実ぶりを高く評価している。電腦といってもバー

チャルだけでなく、「こども110番」というリアルな体制も取っており、それが区内の小学校を連携した活動に広がっている。期待を3つ。①今回が3年目で助成の最終年。持続的な運営システムの確立を期待する。②活動が外から見えた方が防犯効果が高いと思われるので、PRを一層推進してはどうか。③IT系にありがちな独り善がりを使い難いものにならないよう。以上、分かりやすく実践的な活動を期待する。(金城)

【審査結果】 第1回投票：★活動企画内容を支持し、今回のサポート助成が必要と考えられる  
 ◆活動企画内容についてもう少し話を聞き、今回のサポート助成が必要か判断したい  
 ▲社会的に意義ある活動だが、サポート助成の趣旨になじみにくいとする  
 第2回投票：●今回の助成対象として推薦する

No	グループ名	申請額	応募実績	第1回投票	第2回投票	助成対象	助成額
1	五十通り名店街	50	3	★★★★ ◆◆◆	●●●●●	☆	28
2	千代田区子ども110番連絡会	50	3	★★★★★ ◆	●●●●●●	☆	37
3	東京を自転車でする会	50	3	★★★★★ ◆	●●●●●●	☆	34
4	ACIプロジェクト	50	3	★★★★ ◆◆◆	●●●●●●	☆	30
5	花・風の会	46.1	3	★★★ ◆◆◆◆	●●●●●●	☆	27
6	文化発掘隊	50	2	★★★★ ◆◆	●●●●●●	☆	29
7	ちよだ絵本づくりネット	47.9	2	◆◆◆ ▲▲▲▲			-
8	人が愉しむ道の研究	37	2	★★★ ◆◆◆◆	●●●●●●●	☆	28
9	千代田区民音楽協会	48	2	◆◆◆◆ ▲▲	●●		-
10	フレンドシップちよだ	15	1	★★★ ◆◆◆ ▲	●●●●●	☆	11
11	"千代田ガイドクラブ	38	1	★★ ◆◆◆◆ ▲	●●●		-
12	魁! 神田塾	50	1	★★ ◆◆◆◆◆	●●●●●	☆	23
13	"CAPPS	50	1	★★★★ ◆◆◆	●●●●●●●	☆	34
14	都心の水辺探訪クラブ	50	1	◆◆◆◆◆◆	●●●●	☆	22
15	千代田区のマンションの共生空間を考える会	25	1	◆◆◆◆ ▲▲			-
16	千代田乃会文化部	9	1	★★★ ◆◆◆ ▲	●●●●●●	☆	6
17	武蔵野美術大学コミュニケーションデザインチーム	5	1	★★★★★★	●●●●●●●	☆	5
18	kandA 夢 Lab	41	1	★★★ ◆◆◆◆	●●●●●	☆	25
19	NPO 法人 i-Route 準備会	34	1	★ ◆◆◆◆ ▲	●●●●	☆	18
20	"NPO 法人 Dalun Supports Animals	50	1	▲▲▲▲▲▲▲			-
21	お茶の水アートキャンパス構想推進会議	50	1	★★ ◆◆◆◆◆	●●●		-
22	Ray Projects (レイプロジェクト)	50	1	◆◆ ▲▲▲▲▲			-
23	NPO 法人おむすびママの会	50	1	◆◆◆◆ ▲▲▲			-
24	NPO 法人都市住宅とまちづくり研究会	50	1	◆◆◆◆◆◆	●●		-
25	でんでんむし	39	1	★★★★ ◆◆◆	●●●●●●	☆	23
26	区有地活用を考える区民の会	42	1	◆◆◆◆◆◆	●●●●	☆	20
27	東京国際人権協会	50	1	◆◆◆◆ ▲▲			-

## ●東京を自転車で走る会

都心の魅力を再発見し、それを伝えるための有力な活動として評価した。誰でも実践できる“はずのこと”を“こうすればできるよ”“一緒にやろうよ”と具体的に行動しているのは素敵なこと。同好の士の集まりだけではなく、広く参加を呼びかけて、千代田を舞台にした交流が拡大しているようだ。計画しているガイドやレンタサイクルの企画が実を結べば、より千代田の魅力を伝えることができ、都市観光の一翼を担う可能性を秘めている。(金城)

## ●法政大学 ACI プロジェクト

助成も3年目。学生による地域交流と飯田橋の活性化をめざした活動の成果がきちんと見え、頼もしいかぎりです。学生がネットやコンビニと深く付き合うほど、町の商店との関わりが疎遠になる。これは双方にも町にももったいない話です。人とつながり、情報発信やイベントづくりで学生と町をつなげる。この方針はいいけれど、心配なのは来年以降。サポート助成に頼らない活動の仕組みを、ぜひこの1年間で提示できるようにして下さい。(山崎)

## ●花・風の会

2-3年でその子株・球根が増えてお返しできるという「花の銀行」。ソフト面では都心のマンションなどの住民の絆として、また植物を育てる努力、成長を待つ心、広がる夢を育てゆくという一挙両得の発想が良い。今後は千代田区道路・公園アダプト制度適用団体やこのサポート事業に応募されたグループと連絡し合いながら「一人立て!」だけでなく活動を展開され、ちよだのまちの未来を花でいっぱいにして欲しい。(山本)

## ●文化発掘隊

継続しての応募と言うこともあったのですが、プレゼンテーションも非常にこなれている印象でした。ただし、気になったのは活動を今後どのように継続していくのか、それから、小学校の総合学習などで行われている、活動とどのように違いを出していくのか、そして、活動に参加しなかった子供たちにも、その情報をどのように伝えていくかです。HPなどを活用し、活発な活動を期待します。(鈴木)

## ●ちよだ絵本づくりネット

手作り絵本づくりとまちづくりとの関連性が十分には理解できませんでした。絵本の内容や作り方の過程でまちづくりの関連性が見いだされたならば、まちづくりの観点からも非常に意義のある活動になったのではないのでしょうか。取り組まれている活動自体は非常に意義のあるものではないかと思しますので、今後の活動の発展を祈っております。(鈴木)

## ●人が愉しむ道の研究

身近な環境作りに取り組まれている活動の趣旨は大変意義のあるものと思います。ただ、モデルをどのように作成し、活動に生かしていくかという点については、もう少し明確にする必要があると思いました。道づくりという公共空間づくりは専門的な知識や行政の協力が必要ですので、専門家や行政を巻き込みながら活動することがポイントになると思います。(鈴木)

## ●千代田区民音楽協会

音楽の啓蒙活動を通して千代田区に音楽の輪を広げていくという主旨や区内福祉施設などでの活動は素晴らしいと思います。ただ今回の活動経費詳細を拝見すると主に音楽会の指揮者・オルガニスト・ピアニストなどの人件費が活動費の多い部分を占めています。第2回目の応募であり反省事項にも書かれていますが、こ



鈴木伸治 副会長



金城敏彦 委員



山崎範子 委員



山本坦 委員



田畑秀二 委員



座間充 委員

のまちの未来を担う子供たちを育てる一環としての音楽活動を今後も地道に継続し展開されていかれることを望みます。(山本)

## ●フレンドシップちよだ

初回の応募ですが、過去3年間地道に活動実績を積み上げて地域に貢献している事を評価します。番町小学校での Saturday School を楽しみにしている子供たちに、外国人のボランティア先生方の出身国を紹介していただくプログラムは、一方ではその先生方が子供たちから日本という国を知る上で良い機会となります。外国人に対するプログラムは、二の丸公園散策など四季を通じて楽しめる千代田区らしいイベントなども入れていただきたいものです。(山本)

## ●千代田ガイドクラブ

都心の魅力を再発見し、それを伝えるための有力な活動として評価した。“子供が地元をガイドできるように”という視点も素晴らしいと思う。ただ、千代田の魅力と資源の掘り起こしが十分ではなく、地元との交流がないという点では評価が難しかった。子供たちにどのように接し、どのような教育効果を生み出すのかといった点について、地元や学校と協力関係を構築した上でガイド活動を進めれば、素晴らしい活動になると感じた。(金城)

## ●魁! 神田塾

子供を持つ親を中心に、大学生も会員として子供達と共に遊んでいくうちに、「学校間の垣根、世代間の垣根、新住民と旧住民の垣根を越えた交流」を模索していくと言う趣旨。

子供の人数が多かった時代には、各町会が行って来たことです。今は連合町会ごとに様々な形で行っている現状です。会員が2つの連合町会、2つの小学校にまたがっている関係上、この話を連合町会には持っていけなかった経緯があります。連合町会や、町会の行事との違いがどこまで見出せるのか。

また、1年間に20回前後のイベントを開催する予定になっていますが、全てのイベントを2つの小学校の児童にアプローチすることは大変な労力が必要です。企画された行事が一つ一つ確実になされ、今まで以上に多くの参加者が集える楽しい会になっていただきたい。(田畑)

## ●CAPPS

地藏橋児童遊園のアダプト制度をサポートする団体です。

そもそもアダプト制度とは、道路や公園などの一定区画の公共の場所を清掃や美化活動を市民がし、それを行政が清掃用具の提供やゴミの回収などを手助けすることです。

区内には大小の公園や児童遊園が52箇所存在しており、ゴミやホームレスなどの問題など、その場所場所には数々の問題があると思われます。アダプト制度の導入方法をより多くの地域の人々に知らせることは容易ではありませんが、住民と地元企業の連携が密接であるとのことですのでがんばっていただきたい。千代田区中の公園などが生まれ変わり、快適な空間が広がることを切に望みます。(田畑)

## ●都心の水辺探訪クラブ

神田川・日本橋川は貴重な都心の空間である。しかし、急激な都市化の進展に伴うビル群の近接立地や高速道路の占用等により水辺としての魅力に乏しく、その再生が今後のまちづくりの課題となっている。現地踏査やリバーウォッチングを通じてその魅



力を発信し地域との交流を深めることは有意義であるが、沿川の魅力発見とともに水辺再生の視点を加えるなどまちづくりへの展開について工夫が欲しい。(座間)

### ●千代田区のマンションの共生空間を考える会

(ひと、もの、ともに)高齢化マンションがこれからの課題となる千代田区において、時宜を得たテーマの活動でしたが、その方法や成果などが、十分に審査員側に伝わらず残念な結果となりました。経験豊かなメンバーが揃っていらっしゃるの、サポートからの支援は出来ませんが、活動の展開を祈念します。(饗庭)

### ●千代田乃会文化部

高齢者が高齢者福祉のボランティア活動をしている。孤独の高齢者の話を聞きに行く機会が現役で働いている我々には難しいことです。時間に余裕があり、同世代の方が話し相手になっていただくことは、お互いに励みになり、生きがいを見出したりすることもあると思われます。ただ、他の人からは「孤独な高齢者」に見える人でも、自立をし、生活をエンジョイしている方も少なくありません。区では民生委員の方々の活動の中に高齢者に対する関わりもあり、連携していくことも必要ではないでしょうか。(田畑)

### ●武蔵野美術大学コミュニケーションデザインチーム

路上駐車や駐輪、屋外広告物等を撤去したまちをスケッチすることによりまちの魅力を再発見することは、良好な都市景観形成の基本となりうる。荷捌きや来街者などの駐車、駐輪、広告物等を日常的に排除することは厳しい状況にあることも踏まえ、今回の企画はそれを実践するというものであり、すずらん通りを最初のフィールドとした今後の継続的な活動に期待したい。

(座間)

### ●kandA 夢 Lab

複数の大学の学生により、「神田、日本橋夢祭」を開催する。神田の研究・作品を発表し、意見をもらうことを目的としているが、昨年度より実施しているにも関わらず、地元の人々との交流があまり進展していないようです。地元の人々の意見を取り入れなければ、まさしく机上の空論になってしまいます。地元とのより緊密な関係を築き上げるのがこの「夢祭」の最大の課題であると思います。また、卒業論文を作成する一環としてではないことを明確にしたい。大いなる成果がある事を期待します。(田畑)

### ●NPO 法人 i-Route 準備会

テーマが分かりやすく、必要性や展開性の高い活動でしたが、審査会では実行能力への不安が議論されました。自立した「食べていける」NPOになるのか、ボランティアや行政に頼るコバンザメ型になるのか、岐路を見据えつつ、まずはとりあえずの活動開始を期待します。(饗庭)

### ●NPO 法人 Dalun Supports Animals

動物と人間が共存共栄するために、ペットについて情報を纏めたペットマップ作りという主旨による応募でしたが、千代田区まちづくりについての貢献度を考えますと、どうもペット愛好家の仲良しクラブという印象を免れません。NPO 法人として入会金および会費を規定で徴収されているのですから、その資金でマップの作成はできませんか？人と動物の共存やかかわりを考えますと盲導犬、介護犬など福祉をベースとした「やさしいまち」をテーマにしてみたいかがでしょうか？(山本)

### ●お茶の水アートキャンパス構想推進会議

公道を交通規制してフリーマーケットとは大胆な発想。でも地元からは自然と沸き上がる発想なのかも知れない。応募者の活動

意欲も高く、地元の協力も得られており、ぜひ実現してほしいプロジェクトだった。公道の活用は全国的にも注目されている。裏返せば難しいということ。推進体制と実現の可能性に一抹の不安があったことが審査委員の票が伸びなかった要因だろう。検討と実績を積み重ねた上で、再度チャレンジして欲しい。(金城)

### ●Ray Projects(レイ プロジェクト)

魚眼レンズで路地をとった写真を並べたことがあります。空の青と植木鉢の緑と地面の茶色、不思議で魅力的な空間でした。今回の逆さまの町の映像をバスで走りながら眺める、という企画にはとてもそそられるものがありました。乗ってみたい。しかし、一方で、これが町づくりの道具として機能するかどうか、どうしても確信が持てなかったのが、私が助成を逡巡した理由です。町を再発見する、ここまでは納得です、ここから先の説得を、再度試みてほしいと思います。(山崎)

### ●NPO 法人おむすびママの会

子どもの成長にとって大切な活動を、力強くされていることがよくわかりました。目的への方法や手段も立派で感心しました。ただ、千代田の子どもたちへの健康調査にしても、まちを対象や事例として切り取っているように見え、まちづくりサポート事業とはそぐわないという気がしました。今回助成から外れましたが、伝統料理を作ったり、おむすびコンテストをしたりという活動は魅力的です。ますます発展してほしいと思います。(山崎)

### ●NPO 法人都市住宅とまちづくり研究会

介護保険事業の仕組みや今後の取り組みの方向性が充分理解されない面があったことから、今回は借しくも助成対象とならなかった。しかし、デイサービスによる福祉のまちづくりは今後の少子高齢社会を地域から支えるものとして重要であり、その取り組みを評価するとともに今後の活動に期待したい。(座間)

### ●でんでんむし

電気大学が位置する神田警察通り沿道は、業務系ビルが多いことから休日等は閑散とした街並みとなっており、地域の賑わいづくりが課題である。大学周辺の住民や商店へ出張して行うパソコンやデジタルカメラ等の操作や書類作成の補助・講習等は、大学と地域との交流を促進する。地域との交流会など継続性の確保が課題となるが、大学が核となったまちづくりの第一歩として今後のまちの活性化に寄与していくことを期待する。(座間)

### ●区有財産の活用を考える区民の会

この会の申請を新鮮に受けとめました。私が区外の委員だからかも知れません。行政ですでに検討の始まっている物事を、区民がグループを作って勉強し、広報していくことは、やめると対立構造になりがちです。しかし、そんな小さな心配よりも、調査やワークショップによって自分の町を考え、行政から提供される資料を読みこなし、大事だけど大きな声にならない意見を聞き取る可能性に賭けました。報告書より、過程の活動に期待します。(山崎)

### ●東京国際人権協会

法律や条例を中国語に翻訳し、冊子を作成するという活動が、中国系の人たちの生活にどのように役に立つのかという点には理解できませんでした。外国人の方の生活のサポート活動については様々なものがあります。例えばすでに千代田区で提供している中国語のくらしの情報などどのような関係にあるのかかもう少しはっきりしていれば、活動の意義が伝わったのではないのでしょうか。(鈴木)



## 第6回助成グループで未発表団体の成果発表

### 響け！ひろがれ！音楽のまち “ちよだ”

千代田区民音楽協会【1回目】

私共は、昨年初めて応募したが、会は24年前に設立。区内のアマチュアオーケストラの支援や音楽の楽しさを子どもたちに伝える活動をしてきた。

応募の理由は、音楽演奏や歌を通して、千代田のまちが一つになるように心の交流、結びつきを強めていくため。

去年は福祉施設や老人ホーム等で、単なる慰問ではなく、そこで生活する人たちと共に歌い、楽しみ、生きる力をさらに強

く持つて頂くことを願って活動してきた。まだまだ活動が足りないという実感があり、もっと歌を通して、千代田ならではの活動を続け、保育園やデイホームなどにも輪を広げていきたい。

Q) 昨年の成果発表会に欠席したのはなぜか？成果発表は応募の必要条件で、欠席はあってはならないことだ。

A) めったにないことだが、たまたま海外での演奏会と重なってしまい失礼した。

Q) 人件費が多いが、その内訳は？

A) 内訳は別紙の細目に示した。プロの方をお願いする必要があり、どうしても謝礼が高額になってしまった。

### 事務局よりのお知らせ

中間発表会は、次の日程で開催予定です。

- 11月5日(土) 13時から
- 千代田プラットフォームスクウェア5F
- 模造紙2枚程度で発表して頂きます。

詳細は、後日、各グループの連絡係宛に郵送にてご連絡致します。中間発表会の半月程度前に活動状況をご報告頂く記入用紙をお送り致しますので、あらかじめご了解下さい。

なお**成果発表会**は、来年3月を予定しています。

※各グループの活動が、新聞や雑誌などのメディアで紹介された際には、ぜひ事務局までお知らせ下さい。

※活動中に困ったこと、悩んでいることなどがありましたら事務局にご相談下さい。

#### 【事務局へのお問い合わせ先】

財団法人まちみらい千代田：まちづくりチーム

TEL：03-3233-3223 FAX：03-3233-7557

e-mail：info@mm-chiyoda.or.jp

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21

ちよだプラットフォームスクウェア4階

### (財)まちみらい千代田 賛助会員一覧 (法人81社・個人64名 計145)

2005年9月1日現在

※この事業は下記の法人会員と個人会員の会費で運営されています。＜賛助会員募集中＞

#### 賛助会員名簿(法人)

##### <保険関係>

あいおい損害保険(株)  
日本興亜損害保険(株)

##### <金融機関>

興産信用金庫  
城北信用金庫神田支店  
(株)東京都民銀行神田支店  
(株)東京三菱銀行  
(株)東日本銀行飯田橋支店  
みずほ信託銀行(株)  
(株)りそな銀行

##### <建築・土木関係>

(株)大林組東京本社  
大林道路(株)関東支店  
鹿島建設(株)東京建築支店  
鹿島道路(株)  
(株)熊谷組首都圏支店  
五洋建設(株)  
清水建設(株)  
(株)銭高組東京支社  
大末建設(株)  
大成建設(株)  
(株)竹中工務店  
中央建設(株)  
鉄建建設(株)  
東京舗装工業(株)  
常盤工業(株)  
戸田建設(株)東京支店

飛鳥建設(株)関東土木支店  
(株)ガイアート TK  
長野建設(株)東京本社  
(株)ナカノフドー建設  
日東みらい建設(株)  
前田建設工業(株)  
(株)間組東京支店  
真柄建設(株)東京支店  
(株)増岡組東京支店  
三井建設(株)

##### <不動産関係>

エヌティティ都市開発(株)  
協永不動産(株)  
(株)共立エステート  
(株)久保工  
住友不動産(株)  
大日本企業(株)  
三井不動産(株)  
三菱地所(株)  
森トラスト(株)  
安田不動産(株)

##### <建設設計>

(株)アール・アイ・エー  
(株)アイテック計画  
(株)ADプロジェクト  
(株)エルイー創造研究所  
(株)関東設計  
(株)楠山設計  
太平工業(株)東京支店  
(株)都市環境計画研究所

パシフィックコンサルタンツ(株)  
(株)日立建設設計  
(株)ポリテック・エイディディ  
(株)松田平田設計  
マト設計・コンサル(株)  
ラウム計画設計研究所

##### <ビル管理>

鹿島建物総合管理(株)  
東京美化(株)  
本州ビル・メンテナンス(株)

##### <広告代理業>

(有)フィレール

##### <電機・通信関係>

三洋電機(株)

##### <緑花・環境関係>

日産緑化(株)

##### <コンサルタント>

(株)アーバントラフィックエンジニアリング  
(株)アフタヌーンソサエティ  
(株)エコプラン  
(株)新都市企画  
(株)都市デザインシステム  
ランドブレイン(株)  
NPO法人都市住宅とまちづくり研究会  
NPO法人マンション管理支援協議会

##### <その他>

秋葉原商店街振興組合

秋葉原中央通商店街振興組合  
秋葉原西口商店街振興組合  
(株)イサミヤ  
(社)東京都建築士事務所協会  
(株)メガ  
フィールファイン(株)  
ヨシモトポール(株)

#### 賛助会員名簿(個人)(敬称略)

青木 孝次	安孫子 政夫
安藤 岩三郎	伊澤 優
泉澤 定雄	伊東 敏雄
犬伏 真	今川 守
今堀 信明	浦田 泉
扇谷 和栄	大熊 伸
角地 登志子	加藤 武夫
神戸 祐三	木村 進一
小山 政士	佐々木 明美
佐藤 章子	鈴木 勉
須藤 昭雄	瀬川 昌輝
高鍋 龍市	立山 光昭
寺沢 譲	戸田 豊重
中尾 嘉男	二木 憲一
早川 平典	堀部 剛正
松谷 優子	松波 道廣
三原 久徳	宮寺 孝臣
三輪 瑛子	森田 克弥
山内 秀男	山崎 泰廣
渡邊 和	他 25名